

石巻専修大学

石巻専修大学ホームページ http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
0225 (22) 7711
広報専用FAX
0225 (22) 7809

2008 石巻祭

響 ~ひびき~

10/11(土)・12(日)
今年のライブアーティストは
SEAMO
問い合わせは石巻祭実行委員会
☎0225-22-7429まで。

10月11、12日
オープンキャンパス
同時開催

「青少年のための科学の祭典」好評

創立20年記念で規模拡大

▼「ASIMO(アシモ)」登場でにぎわう会場



「青少年のための科学の祭典2008」石巻大会(実行委員長―亀山紘理)工学部教授が8月16、17の両日、本学で開かれた。子どもたちがさまざまな実験や工作で科学の不思議や面白さを体験するこのイベントは本学を会場として8回目。今回は創立20年を記念し、例年より規模を拡大して開催された。両日も大勢の家族連れなどでにぎわい、延べ4000人を超える入場となった。

「ASIMO(アシモ)」が来場者の目を引いていた。「ASIMO」は人間のように、なめらかな動きでトレイを運んだり、子どもたちと握手をしたりしたほか、先生役となってエネルギーの大切さや電気の仕組みについて授業を行った。このほか親子でラジオ製作を楽しむ教室や、電気掃除機の吸引モーターを利用した乗り物である「ホバークラフト」の試乗体験コーナー、零下19.6度の液体窒素を使って遊ぶコーナーなど、多彩なプログラムが用意されており、子どもたちは科学の世界に引き込まれていた。



科学の魅力に興味津々
「エネルギー体験」
「くらしと環境」など15のコーナー、47のブースが各教室や廊下に設けられた。



このうち東北電力のコーナーでは環境・エネルギーの魅力を体験するコーナーが好評だった。

中国2大学20人受け入れ

海外から初の夏期研修生

国際交流事業の一環として、8月21日から30日まで国際交流協定を結んでいる中国の温州大学(浙江省温州市)と石油大学(山東省东营市)から夏期短期研修生ら20人を受け入れた。海外の大学からの研修生の受け入れは開学以来初めてのこと。来学したのは国際経済学などを学ぶ温州大学の学生と、機械や化学を学ぶ石油大学の学生それぞれ8人と引率の教員。

期間中、研修生たちは経営学部と理工学部の講義を3科目ずつ受講したほか、新日本石油精製の製油所、ソニー仙台テクノロジセンター、キリンビール仙台工場へ企業見学に出かけた。



歓迎会で坂田学長と語りつ夏期短期研修生たち

22日には茶道愛好会(渡辺俊代表)が学生ホールに茶席を設け、研修生たちの目の前でお茶をたて、もてなした。24日には学生食堂前でパーティーを開き、「温州大学サマーブ

サマープログラム

中国文化を体感

温州大との学生交流深める

国際交流協定を結んでいる中国の温州大(浙江省温州市)との交流活動として、7月31日から8月10日まで「温州大学サマープログラム」が行われ、理工、経営の両学部から9人の学生(うち1人は大学院経営学研究科



温州独自の経済モデルについての授業、世界で唯一の毛髪刺繍資料館や地元の有名企業である正泰電機の見学、郊外への小旅行と多岐にわたった。

温州大との学生交流深める

温州大との学生交流深める

温州大との学生交流深める



▲ 熱戦を繰り広げるラグーマン(本学学生と社会人チーム)

ラグビーで地域交流

ワンデイ・スポーツ・アカデミー

創立20年記念事業として、スポーツ、文化を通して石巻地域の若者や学生と交流を深める「ワンデイ・スポーツ・アカデミー」が8月10日、本学ラグビー場で、ラグビー部主催による練習と交流試合が行われた。

石巻市はラグビーが盛んな土地柄で市内の高校3校は全国大会に出場している。

今回の交流は、石巻市内のラグビースクール(小中学生)、高校生チーム、社会人チームの交流を目的として市内のラグビー少年とコラボレーションをすることになった。

今回の交流は、石巻市内のラグビースクール(小中学生)、高校生チーム、社会人チームの交流を目的として市内のラグビー少年とコラボレーションをすることになった。

米国・シアトルで海外語学研修

米国・シアトルのシアトルパシフィック大学で8月13日から9月3日まで海外語学研修が行われ、2週から授業に出席。学生たちは、毎日2コマの授業を受けた後、ネットワーキングと1対1の会話を実践。週末にはシアトル・マリナーズの試合を観戦するなど、異文化体験も楽しんだ。



シアトルパシフィック大学での授業風景

シアトルパシフィック大学での授業風景

カーエレクトロニクスの研修会

自動車工学センターでは毎月、さまざまな研修会が開催されているが、8月にかけて開催された「エンジン診断機の説明に耳を傾ける」研修会では、本学機械工学科の山本憲一教授が「自動車機能構造」に関する研修会が開かれた。現代の自動車整備環境と今後の整備の考え方、エンジン診断に必要なアスタラー概要などの理解を深めた。

カーエレクトロニクスの研修会

「夏期就職支援講座」

毎年、夏期休暇を利用して授業とは別に各種講座が学内で開催されている。資格取得が目的ではなく、キャリアを構築する有効な手段として実施され、達成することが学生に自信を植え付けるといふ副次的な効果を狙っている。販売士、TOEIC、公務員試験対策、パソコン(MOS、CAD、シスアド、基本情報技術者等)の各種講座が行われ、好評を博している。理工、経営の学部生、大学院生いずれも受講資格があり、1つの講座で成就するとその後も2つ、3つと講座に参加するようになり、学生たちは徐々に自信を深めている。また、正課の授業にも良い影響を与え、キャリアアップが充実していく。このように学生の意欲が徐々に高まり、就職活動に向けての準備が万全となる。